

環境保全活動

環境経営指標の推移(連結)

日東電工グループでは、独自の環境効率指標とその目標値を定め、地球温暖化防止を中心とした環境負荷削減活動に取り組んでいます。日東電工グループが定めた環境経営指標「環境負荷付加価値生産性」は、事業活動によって創出した付加価値を、付加価値を生み出すために要した環境負荷量(CO₂換算量)で割った値として定義しました。2005年度を基準とし、2015年度までに効率2倍を目標にしています。

2008年度は、業績不振による影響から創出付加価値が減少し、環境経営指標は昨年度から約5%悪化しました。しかし基準とした2005年度との比較では約11%の効率向上が図られています。

今後は目標達成に向けて、製造工程を精査し、遡って根本を解決する「源流対策」に力を入れていきます。

■環境経営指標

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
経営指数	0.363	0.357	0.421	0.402
(指数)	100	98	116	111

環境経営指標

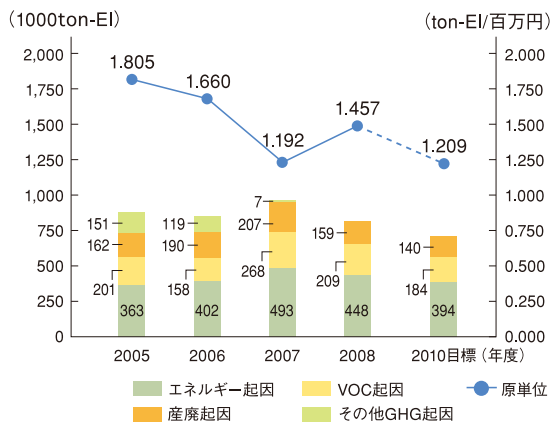
事業活動によって創出した付加価値と、それにともない発生した環境負荷(下記参照)との関係。

$$\text{環境経営指標} = \frac{\text{付加価値}}{\text{環境負荷(CO}_2\text{換算量)}}$$

付加価値とは…

$$\text{付加価値} = \text{売上高} - (\text{材料コスト} + \text{エネルギーコスト})$$

■環境負荷・原単位推移(連結)



ton-EI: エネルギー、産廃、VOCなどを独自の係数を用いて換算した当社独自の環境負荷を示す単位